



里庄町立里庄中学校の非認知能力を育成する取組を取材しました。

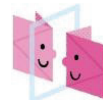
【キーワード】

- ① 3 ションプログラム ② プレゼンテーション ③ ディスカッション ④ リフレクション

岡山大学中山芳一准教授による夢育を通して育てたい非認知能力を表すアイコン（ロゴマーク）



自分を高める力



自分と向き合う力



他者とつながる力

【取組のポイント】

1 【町の教育目標を踏まえた学校の目標設定】

- ・令和3年度の里庄町の教育目標は「希望を持ち、豊かな心を育むまち」であり、学校教育においては『3 ションプログラム～「里庄」の力』のもと「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育むために非認知能力の育成に町の幼小中すべてで取り組んでいる。
- ・里庄中学校の学校教育目標は「心豊かに自ら学ぶ生徒の育成」であり、生徒の非認知能力の育成の向上により「自己肯定感を高める集団づくり」を目指している。

2 【非認知能力育成の視点】

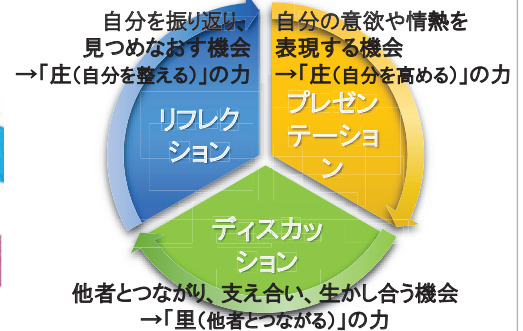
○ 『3 ションプログラム～「里庄」の力』

- ・「庄（自分を高める）」の力を育成するために、自分の意欲や情熱を表現する機会として**プレゼンテーション**に取り組む。
- ・「里（他者につながる）」の力を育成するために、他者につながり、支え合い、生かし合う機会として、**ディスカッション**に取り組む。
- ・「庄（自分を整える）」の力を育成するために、自分を振り返り、見つめなおす機会として**リフレクション**に取り組む。

※「里庄」の力とは、「里（他者につながる）」の力と「庄（自分を整え、高める）」の力を合わせた力



3 ションプログラムによって創り出される機会

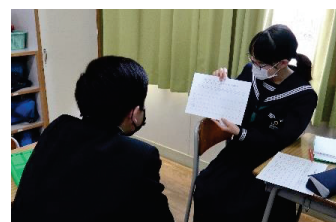


資料：岡山大学中山芳一准教授から

3 【事例と今後の取組の方向性】

○ **プレゼンテーション**

- ・帰りの会の1分間スピーチ（少人数グループ）
- ・総合学習の調べ学習発表 ・実験観察方法の発表
- ・作品発表 ・パフォーマンステスト 等



生徒が個人で**プレゼンテーション**をしている様子

○ **ディスカッション**

- ・グループでのテーマトーク ・鑑賞後のグループワーク
- ・道徳でのチャット機能の活用 等



グループごとに**プレゼンテーション**をしている様子

○ **リフレクション**

- ・生活ノートでの反省 ・各教科の振り返り
- ・学期末の振り返りシート 等



これらについて、発達段階に応じて、3年間を見通して計画を立て、毎日のルーティーンとして意識的に取組を進めている。量から質へ発展できるよう、**プレゼンテーション**では自分のことを発表することが楽しいと思えるようにし、**ディスカッション**ではオープンエンドかクローズエンドかをはっきりさせ、**リフレクション**ではただ振り返るのではなく、自己を客観視できるようにすることで、安心して取り組める仲間・集団づくりに努めている。

取材を終えて

里庄中学校では、町の教育目標を踏まえて学校教育目標を設定し、非認知能力育成の取組を進めていました。以前からの取組も『3 ションプログラム』のどれにあたるのか整理した上で意識して行うようにするなど、できるところから実践しており、無理のないように非認知能力の育成に取り組まれていました。